

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

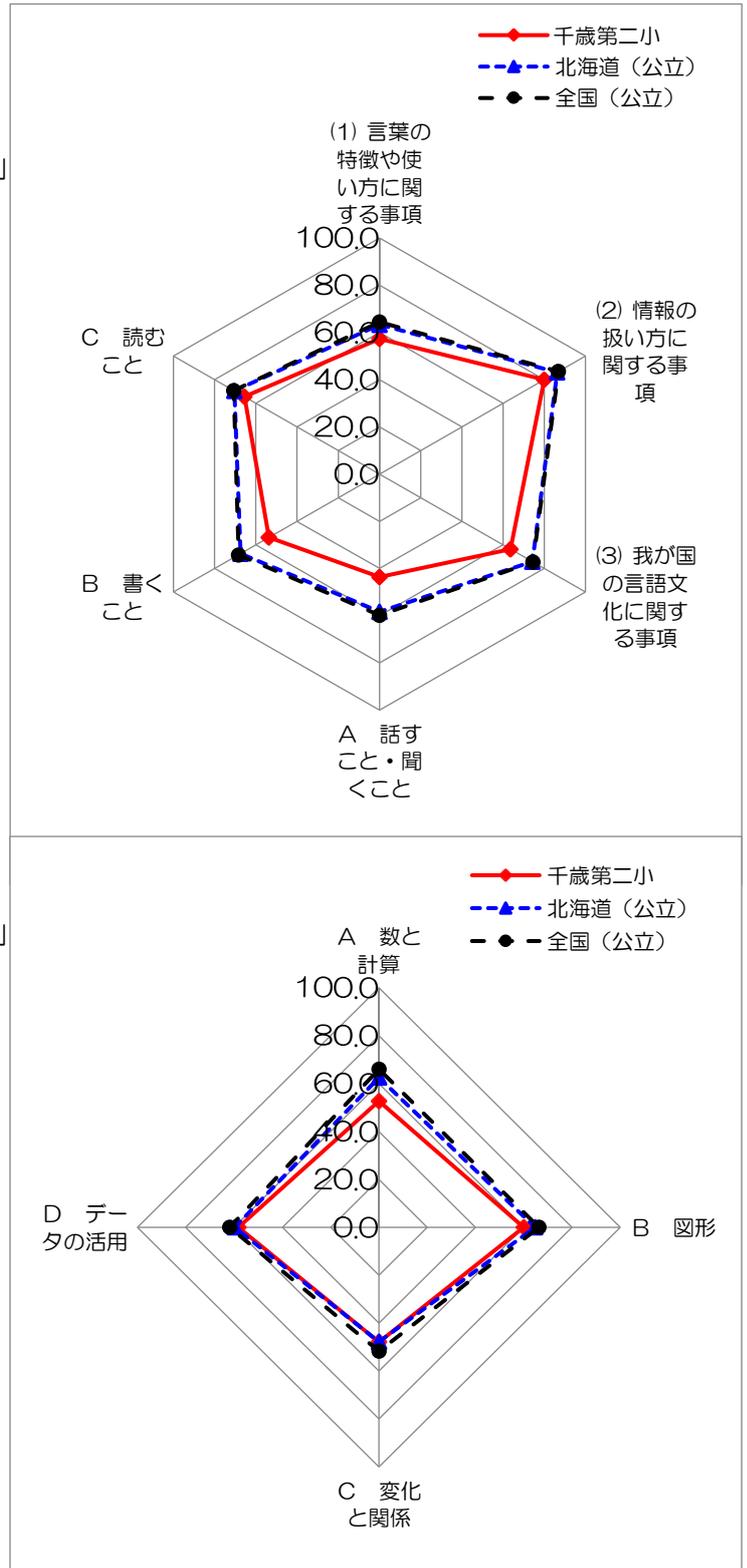
さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査（6年生対象）の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童（生徒）の学力向上に向けた計画を作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

国語

- 全国平均と比べ、「相当低い」といえます。
- 評価の観点では、全国平均と比べ、知識・技能は「やや低い」、思考・判断・表現は「相当低い」という結果になりました。
思考・判断・表現の中でも「書くこと」に対して苦手意識を持っている児童が多い現状です。
- 問題形式では、短い言葉で答える「短答式」で全国平均と「同様」であり、「記述式」では全国平均と比べ「相当低い」という結果になりました。
- 漢字の書き取りの問題は正答率が高く、全国平均と比べ「やや高い」という結果になりました。
- 無回答率は全国平均と比べ高く、多くの問題で粘り強く答えを導く児童が多くみられます。

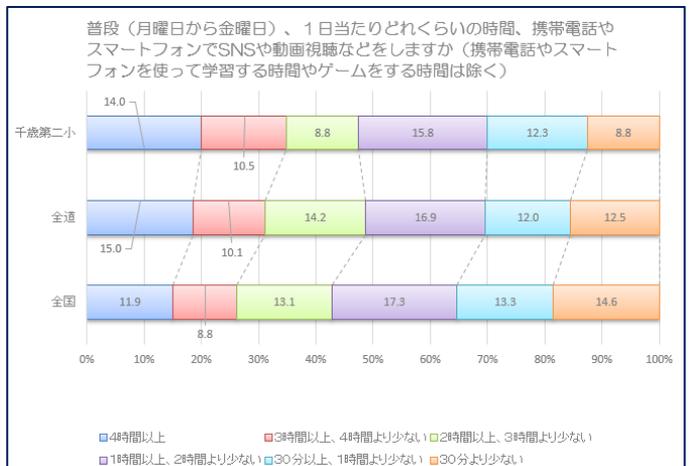
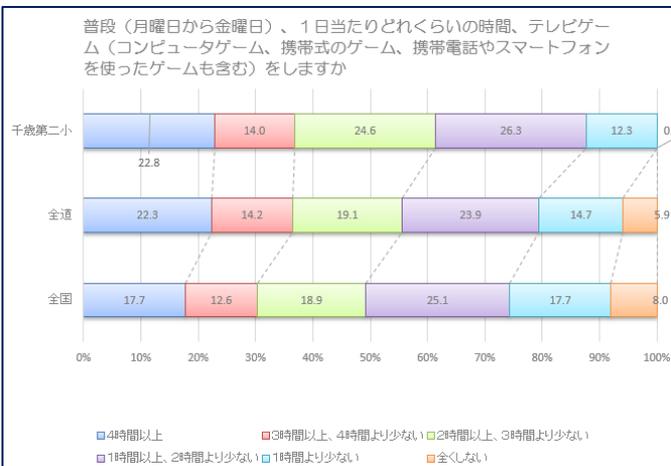
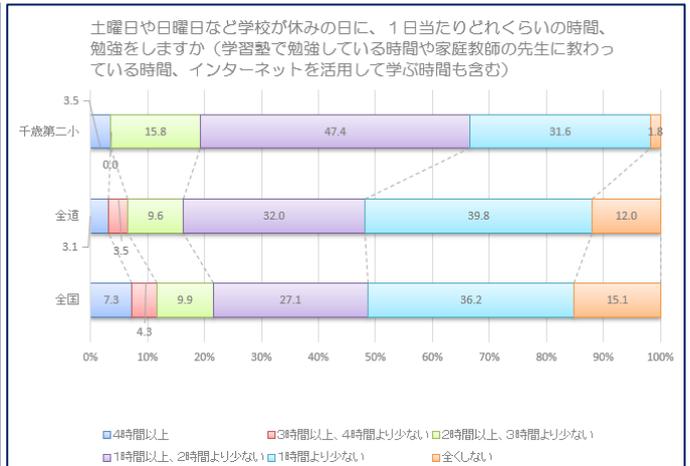
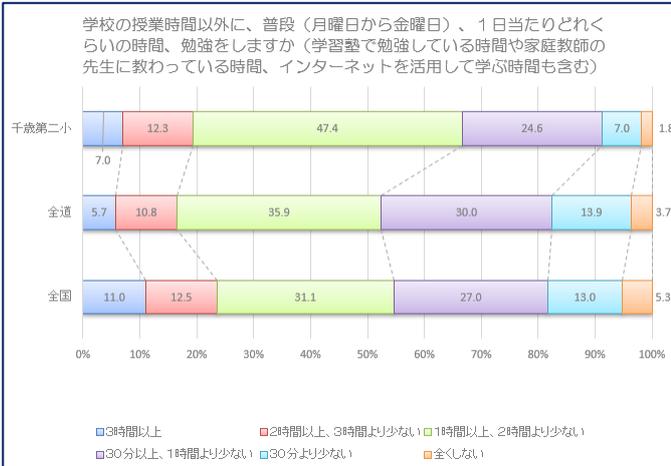
算数

- 全国平均と比べ、「相当低い」といえます。
- 評価の観点では、全国平均と比べ、知識・技能は「相当低い」、思考・判断・表現は「やや低い」という結果になりました。
- 領域別では「数と計算」で全国平均と比べ、「相当低い」結果で、特に小数のわり算の問題に課題が見られます。
- 問題形式では、式やことばで説明する「記述式」の問題で全国平均と比べ、「ほぼ同様（下位）」でした。
- 無回答率は全国平均と比べ高く、多くの問題で粘り強く答えを導く児童が多くみられます。



児童質問紙

★家庭での学習・スクリーンタイムについて

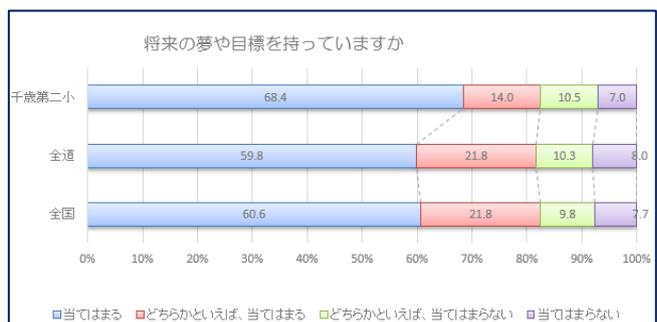
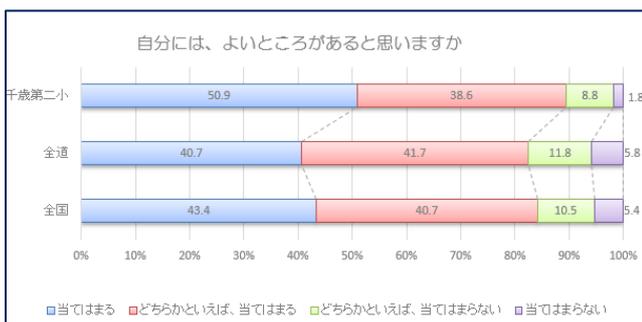


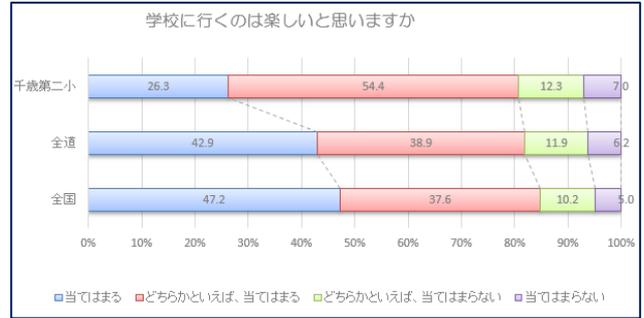
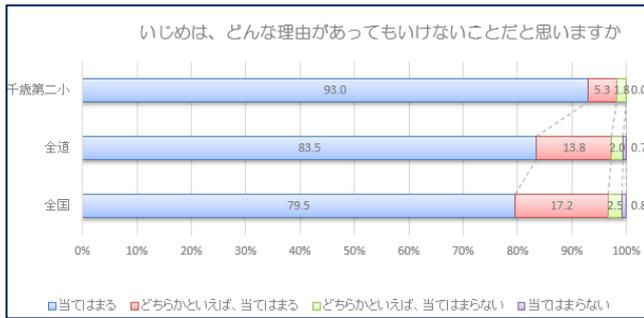
■家庭学習については、平日、休日ともに1時間以上取り組んでいる児童が多く、良好な状態と言えます。

■スマートフォンやタブレットの約束を守っている児童が全道や全国平均と比べ多い傾向が見られます。ご家庭での指導力の高さがうかがわれます。

■約25%の児童が3時間以上スマホ等を見ている現状があります。また、テレビゲームや携帯式ゲーム、スマホのゲームの時間も全国と比べ高くなっています。スクリーンタイム（画面を見ている時間）は千歳市全体の課題となっておりますので、使用時間についてはご家庭でも子どもとルールを決めていただきたいと思います。

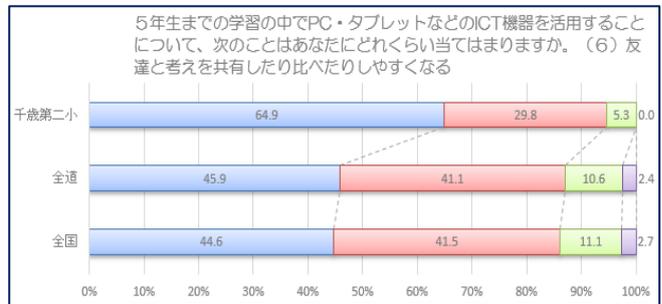
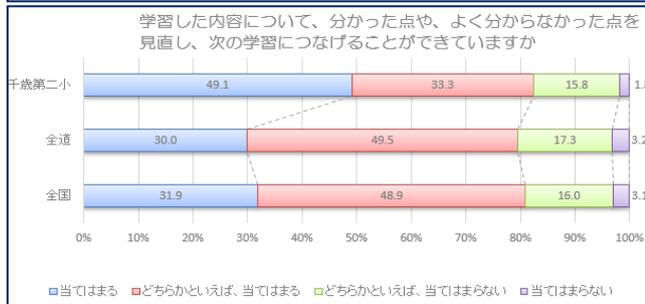
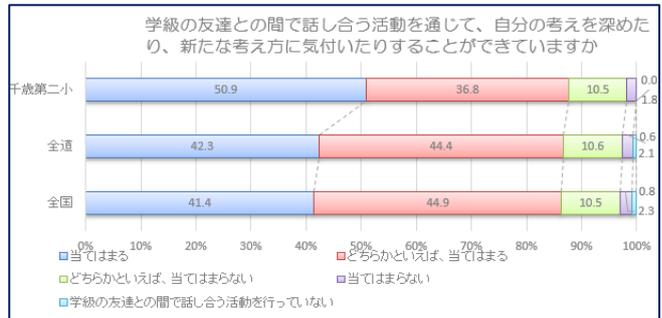
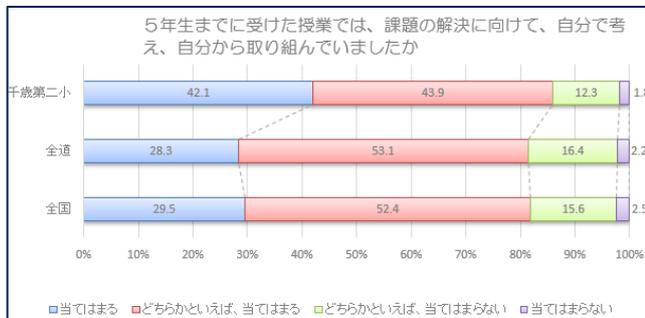
★自己の行動について





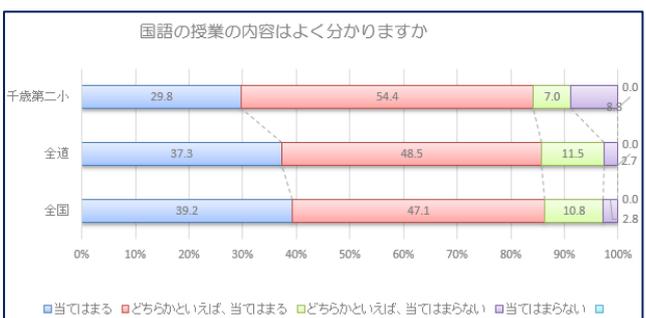
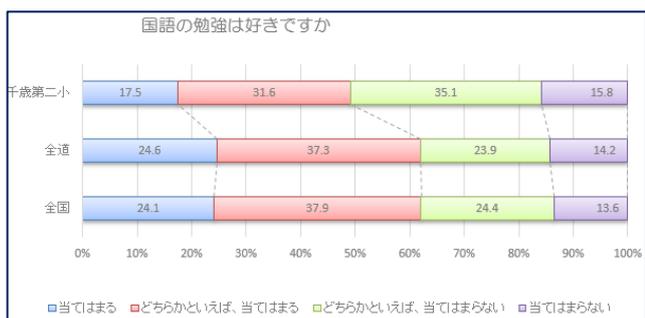
- 子どもたちの自己肯定感の高さが二小の子どもたちの素晴らしさです。
- いじめについてなど、善悪の判断や規範意識の高さが見られます。
- 「学校に行くのは楽しい」では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の肯定的な回答は全道・全国とほぼ同等ですが、「当てはまる」は全道・全国よりも低い結果となりました。これを踏まえ、子どもたちが「学校へ行きたい」「学校は楽しい」と感じられる教育を推進してまいります。

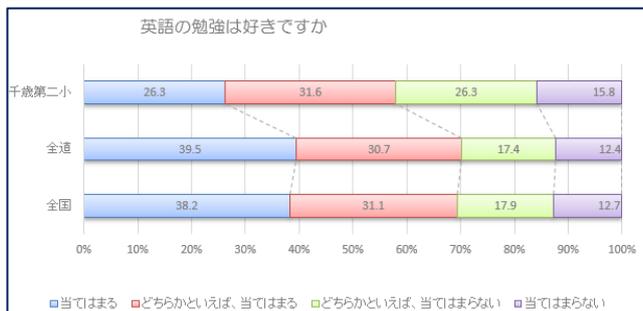
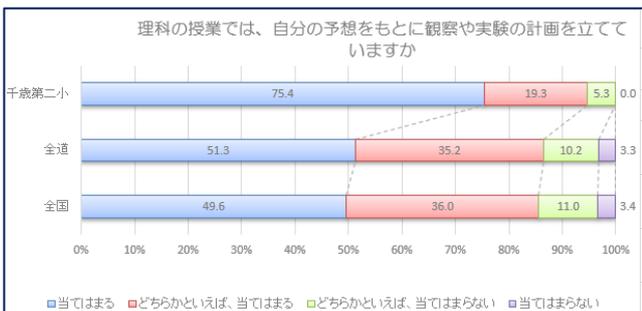
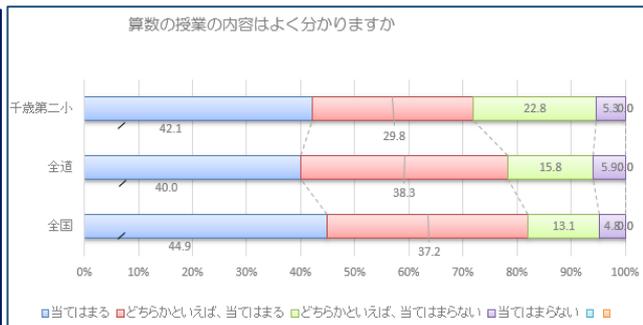
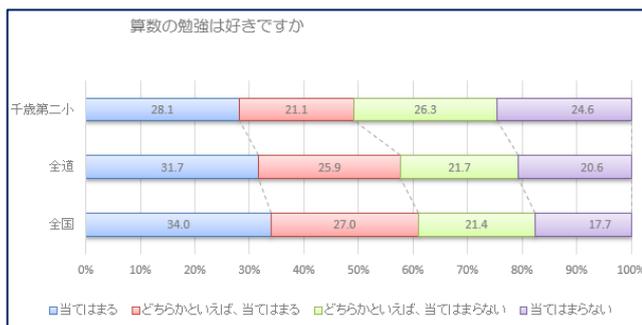
★授業改善



- 「主体的対話的な深い学び」の実現に向けた取組の成果が見られます。
- ICT機器を積極的に活用している様子が見られます。
- 本校の研修課題である「自ら考え、対話を通して課題解決に向かう子どもの育成」に向け、職員一丸となってさらに取り組んでいきます。

★各教科について





■教科に関しては、興味や理解度で全国を下回る結果になりました。学校として学ぶことの楽しさや喜びを実感できる児童の育成に努めます。

■理科については昨年度から実施している高学年の「教科担任制」の成果が表れ、全道・全国と比べても高い値となっています。

◆◆◆今後の学校としての取組◆◆◆

【学習面】

- 子どもが主体的に考え、自ら課題を解決する授業を推進します。
- タブレット端末を有効に活用し、自分の考えを深めたり広げたりする授業を推進します。
- 特別支援コーディネーターを中心に個に応じた指導の体制づくりに努めます。
- 資質・能力の確実な育成に向け、職員研修を充実していきます。

【生活面】

- 児童会を中心とした縦割り班活動を通して、豊かな心の育成に努めます。
- ソーシャルスキルポスターを活用して、集団生活のきまりや約束などの定着を図ります。

◆◆◆ご家庭へのお願い◆◆◆

- 家庭学習の支援、見守り、声かけなどを行い、『学年×10分+10分』の学習時間の確保をお願いいたします。
- スマホやタブレット等のルールの設定や長時間の使用にならない取組をお願いいたします。